

第七拾四條

一、養老貯金
 二、年末積立
 三、自由貯金

從業員ハ左ノ割合ヲ以テ毎月養老貯金ヲナスモノトス

月給	參拾圓以上	金六拾錢
月給	壹拾圓以上	金四拾錢
日給	七拾錢以上	金參拾錢
日給	七拾錢以下	金參拾錢

第七拾五條

養老貯金ニ對シテハ左ノ利子ヲ附ス

勤績年限	利子
滿五ヶ年未滿	年六分
滿五ヶ年以上	年六分五厘
滿十ヶ年以上	年七分
滿十五ヶ年以上	年七分五厘

第七拾六條

左ノ事項ノ一ニ該當スル時ハ養老貯金ハ之ヲ拂戻スモノトス

- 一、本人死亡シタル時
- 一、本人退社ヲ許可セラレタル時
- 一、地方長官ノ命令ヲ以テ定メタル時
- 一、其他必要已ムヲ得サル時

滿二十ヶ年以上	年八分
滿廿五ヶ年以上	年八分五厘
滿三十ヶ年以上	年九分

第七拾七條

事情ニ依リ本社ガ相當ト認メタル時ハ其者ノ養老貯金額ノ八割ニ相當スル金額ヲ限度トシテ會社ヨリ一時融通ヲ受クル事ヲ得ルモノトス

第七拾八條

年末積立ハ十二月ヲ除ク他、毎月養老貯金額ノ倍額ノ積立ヲナシ十二月末之ヲ拂戻シ年末多事ノ際ノ用途ニ充ツルモノトス

第七拾九條

年末積立ニ對シテハ年六分ノ利子ヲ附ス

第八拾條

自由貯金ハ本人ノ希望ニヨリ任意ノ金額ヲ隨時ニ本人ノ希望ニヨリ銀行又ハ郵便貯金ト